

2018年11月1日

関係機関の長 各位

東京女子医科大学

学長 吉岡 俊正

(公 印 省 略)

解剖学講座(顕微解剖学・形態形成学分野)教授の公募について

謹 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本学医学部では、解剖学・発生生物学講座の江崎太一教授・講座主任が2018年3月31日をもって定年退職となりますので、後任の教授を選考することになりました。つきましては、貴学・貴施設ならびに関連の諸機関にご周知いただき、適任者がおられましたら、ご推薦賜りますようお願い申し上げます。

なお、現在、本学では、解剖学・発生生物学講座のほかに解剖学講座が設置されており、江崎太一教授・講座主任の退任後、これら2つの講座が「解剖学講座」として統合する予定です。新「解剖学講座」の下に「神経分子形態学(現・解剖学)分野」と「顕微解剖学・形態形成学分野(現・解剖学・発生生物学)分野」とそれぞれ名称を変更した2つの分野が設置されます。また、講座主任は現・解剖学講座の藤枝弘樹教授・講座主任となります。従いまして、今回は、「解剖学講座(顕微解剖学・形態形成学分野)」の教授として、藤枝教授・講座主任を補佐しつつ、顕微解剖学・形態形成学分野における学部教育、大学院教育ならびに基礎研究を推進していただくことを、予めご承知おきのほどお願いいたします。

謹 白

記

1. 公募の概要および選考方針

顕微解剖学および形態形成学の両領域において造詣が深く、熱意をもって教育・研究にあたり、基礎および臨床において学内外の研究者とネットワークを構築して研究を推進し、優れた組織マネジメント能力を有する方を公募いたします。本分野教授には顕微解剖学・形態形成学分野に係る学部教育に加え、本学医学研究科大学院教授(顕微解剖学・形態形成学分野)を担当していただきます。

資格要件は以下のとおりです。なお、選考にあたりましては、「社会に貢献する女性医療人を育成する」という本学の建学の精神に則り、業績および人物の評価において同等と認められた場合は女性を積極的に登用する方針であることを申し添えます。

- (1) 医師免許または歯科医師免許を有するとともに、博士(医学)の学位を有する方
- (2) 5年以上(できれば10年以上が望ましい)の教育歴、10年以上の研究歴に加え、大学において教授、准教授または専任の講師の経歴(外国におけるこれらに相当する教

員としての経歴を含む)を有する方

- (3) 研究業績として、査読付自著論文(注) 15編以上(以下のAまたはBを計4編以上含むこと、ただしAを1編以上含むこと)または自著論文のインパクトファクターの合計が15以上の要件を満たす方

A: 英文研究論文(自著原著)とする。また英文で発行され国際的評価を受けている雑誌で、インパクトファクター0.5以上を一応の目安とする。

B: 英文研究論文(自著原著)で、国内誌、海外誌とも、学会誌もしくはそれに準ずるもの。それ以外は学術雑誌でも該当する専門家を含む相当数の読者がおり、アクセスが自由にできるもの。また、英文による総説や解説、症例報告もこれに含める。ただし、編集長への手紙(Letters to the Editor)、ブログ、デジタルオブジェクト識別子(DOI)の付与されない電子ジャーナル等は含めない。

(注) 自著論文とは、本人が first author または equal contributor になっている論文、または corresponding author として明記されている論文を指す。

- (4) 本学の理念である「至誠と愛」を理解し、女性医師の育成や女性の働きやすい職場環境を構築できる方

2. 提出書類

詳細は本紙4～5ページをご参照ください。

様式1～5については、本学ホームページ(HOME > 新着採用情報)からダウンロードしてください。

<http://www.twmu.ac.jp/univ/>

- | | | |
|--------------------------|---------|--------------------|
| (1) 履歴書(様式1) | 1部 | (補足資料も合わせてお送りください) |
| (2) 業績目録(様式2) | 1部 | |
| (3) 主要自著論文、別刷 10編 | 各1部 | |
| (4) 主要自著論文10編の説明(様式3) | 1部 | |
| (5) 研究資金等の取得状況(様式4) | 1部 | |
| (6) 自己評価書 | 1部 | |
| (7) 推薦者一覧 | 1部 | |
| (8) 推薦書(様式5) 厳封 | 推薦者3名まで | |
| (9) 電子ファイル保存媒体(USBまたはCD) | 1式 | |

上記(1)～(7)の電子ファイル((3)はPDFファイル、その他はExcelまたはWordファイル)を保存した媒体。

3. 提出方法

- (1) 上記の提出書類等を一括して送付してください。
- (2) 提出書類は、必要に応じてクリップ留めとし、針の有無に係わらずステープラー(ホッチキス)等は使用しないでください。
- (3) 封書等の表に「解剖学講座(顕微解剖学・形態形成学分野)教授候補者応募書類」と

朱書きしてください。

- (4) 提出は、書留等で確実に受理が確認できる方法でお送りください。持ち込みはお受けできませんので、ご注意ください。

4. 提出期限：2018年 12月 28日（金）必着

5. 提出先：〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1
東京女子医科大学 学長宛

6. 選考方法

- (1) 1次選考：書類審査
- (2) 2次選考：面接審査
- (3) 3次選考：公開講演審査
- (4) 最終選考：理事会審査

7. 問い合わせ先：東京女子医科大学 学務部医学部学務課
電話 03-3353-8111（内線） 26070 ・ 22114

8. 備考

- (1) 提出書類等一式は返却いたしません。選考に関わる者以外に応募情報の漏洩なきよう厳重に管理の上、選考終了後当方にて責任を持って処分をいたします。なお、選考過程において選考に関わる者として、本学教授会構成員および理事会構成員等が含まれますことをご了承願います。
- (2) 選考過程において、追加資料等の提出を求めることや、状況確認に所属施設に伺う場合があります。
- (3) 候補者の方には選考過程において、面接、公開講演等で数回ご来学いただくこととなります。このために必要な旅費・滞在費等は応募者の負担といたします。また、日程および実施方法は直接ご本人に連絡いたします。
- (4) 選考結果は、最終選考が終了次第、応募者ご本人のみに通知し、推薦者の方には通知いたしません。

以上

提出書類の記載方法等について

(1) 履歴書 (様式 1) (写真貼付)

別紙 (様式 1) に従い、学歴、職歴、教育歴、研究歴 (登録特許を含む)、診療歴、学会活動、社会貢献活動、賞罰に分けて記載してください (相互に重複することは差し支えありませんが、項目で記載する内容がない場合は「なし」と明記してください)。

また、履歴書に記載した卒前、卒後、大学院教育について、年間の講義内容・実習の時間数を記載した担当表やシラバスのコピーとその PDF を添付してください (過去 3 年分)。

(2) 業績目録 (様式 2)

別紙 (様式 2-1、様式 2-2) に従い、Excel ファイル内の 2 つのシートに記載してください。

(3) 主要自著論文、別刷 10 編

主要な自著論文 10 編をあげ、その 10 編の論文の別刷を各 1 部ずつ添付してください。

(4) 主要自著論文 10 編の説明書 (様式 3)

別紙 (様式 3) に従い、各々の論文の独創的な点について 200 字以内で説明を記載してください。

(5) 研究資金等の取得状況 (様式 4)

別紙 (様式 4) に従い、直近 10 年間に取得した研究資金を記載してください。

(6) 自己評価書

下記①～⑥の各々について具体的に記載してください (A4 版で各項目 800 字以内、書式は自由)。

①教育：少人数教育 (チュートリアルなど) を含む卒前教育・卒後教育・大学院教育などの実績について、履歴書の記載内容を補足するとともに、教育に対する抱負について記載してください。

②研究：主な研究分野とその業績について補足するとともに、若手研究者の育成経験や研究に対する抱負を記載してください。

③組織マネジメント：主導的立場で経験した実例を記載してください。例えば、教室の運営や学会での役割など、種類を問いません。

④社会貢献：これまでの実績について、履歴書の記載内容を補足するとともに、社会貢献に対する抱負について記載してください。

⑤女性医療者の教育・育成：これまでの実績や本学の建学の精神や理念等を踏まえた

今後の抱負を記載してください。

⑥将来への抱負：ご自由にお書きください。

(7) 推薦者一覧

推薦者の氏名・所属・役職を明記した一覧表（A4版で書式は自由）。

(8) 推薦書（3名まで）

別紙（様式5）に従い、最初に応募者との関係と交流期間を明示の上、応募者の教育、研究に関する能力、組織マネジメント力および人物について客観的な評価を記載していただってください。推薦書の依頼先は国内外を問いませんが、提出期限に注意して依頼してください。推薦書は推薦者が封書に入れて厳封した状態で、応募者の資料と一緒に送ってください。

以上